様式２

調　査　研　究　結　果

種目	道　　徳	発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教 科 書 名
観点	教科書名等／項　　目	２・東書	道徳・７０１ 道徳・８０１ 道徳・９０１	新訂　新しい道徳１ 新訂　新しい道徳２ 新訂　新しい道徳３
取扱内容	地域への興味関心	第１学年〈郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度〉〈我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度〉を扱い、郷土に住み、郷土の一員であることを実感できるのは、どのようなときかを考える活動等を取り上げている。また、芦別市出身の植松努氏についての読み物教材と、付録にアイヌ古式舞踊について紹介されている。 第２学年〈郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度〉〈我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度〉を扱い、郷土のために自分ができることはどのようなことがあるのか考える活動等を取り上げている。また、第２学年では霧多布が舞台となる読み物教材が扱われている。 第３学年〈郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度〉〈我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度〉を扱い、自分たちの郷土には、どのような伝統や文化が受け継がれているかを考える活動等を取り上げている。また、三浦雄一郎氏についてと、小樽市が舞台となる読み物教材が扱われている。		
	命の連続性	第１学年〈生命の尊さ〉を扱い、今までに、命の大切さやありがたさを実感したのはどのようなときかを考える活動を取り上げている。 第２学年〈生命の尊さ〉を扱い、生命の尊さを心に刻んで生きていくためには、どのような気持ちが大切かを考える活動を取り上げている。 第３学年〈生命の尊さ〉を扱い、命を大切に生き抜いていくためには、どのようなことが大切かを考える活動を取り上げている。		
	自己肯定感・自己有用感の醸成	第１学年〈よりよく生きる喜び〉を扱い、心の弱さを乗りこえるために必要なこと、人間として生きることのすばらしさを感じるのはどのようなときかを考える活動を取り上げている。 第２学年〈向上心、個性の伸長〉〈よりよく生きる喜び〉を扱い、自分らしい生き方をするためには、どういうことが大切か、自分を信じて生きるとは、どういうことかを考える活動等を取り上げている。 第３学年〈向上心、個性の伸長〉〈よりよく生きる喜び〉を扱い、自分やクラスメートのよいところを見つめたり、あやまちや失敗に気づいたとき、人間としてどう行動することが必要かを考えたりする活動等を取り上げている。		
	生活習慣 （ゲーム･スマホ）	第１学年〈節度、節制〉を扱い、無謀なことをすることと、頑張ることにはどのようなちがいがあるかを考える活動を取り上げている。 第２学年〈節度、節制〉を扱い、基本的な生活習慣を身につけ、心や身体を整えるとき、大切にしたいことを考える活動を取り上げている。 第３学年〈節度、節制〉を扱い、歩きスマホの危険性を考えるとともに、日頃から、安全で調和のとれた生活を心がけようと自分で意識していることについて考える活動等を取り上げている。		

	情報化への対応		第１学年〈友情、信頼〉を扱い、インターネットを扱い、情報を発信するときには、どのようなことに配慮する必要があるかを考える活動を取り上げている。 第２学年〈友情、信頼〉を扱い、メッセージアプリを通して、友達との友情を育てていくためには、どのようなことが大切かを考える活動を取り上げている。 第３学年〈友情、信頼〉を扱い、SNS でメッセージのやりとりを通して友達との関係をよくするために、どのようなことに配慮する必要があるのかを考える活動等を取り上げている。
	男女平等		第１学年〈友情、信頼〉を扱い、友達とともに成長していくためには、どのようなことが必要かを考える活動を取り上げている。 第２学年〈友情、信頼〉を扱い、友情を育てていくうえで、大切にしなければいけないことを考える活動を取り上げている。 第３学年〈友情、信頼〉を扱い、友情を深めるために必要なことを考える活動を取り上げている。
	いじめ問題への対応		第１学年〈相互理解、寛容〉〈自主、自律、自由と責任〉を扱い、いじめと遊びのちがいや、いじめの状況を作らないために、どうすればよいかを考える活動等を取り上げている。 第２学年〈公正、公平、社会正義〉〈自主、自律、自由と責任〉を扱い、いじめはいじめられた人の心に、どのような傷あとを残すものなのか、いじめを止めるのは、どのような心なのかを考える活動等を取り上げている。 第３学年〈公正、公平、社会正義〉〈自主、自律、自由と責任〉を扱い、人を追い込んでしまう心、助ける心について話し合い、いじめをしないために、大切にすることを考える活動等を取り上げている。
内容の構成・排列	教材数	中心的に扱う教材	第１学年３１（読み物２７、漫画２、他２） 第２学年３３（読み物２７、漫画３、他３） 第３学年３１（読み物２６、写真１、漫画１、他３）
		補助的に扱う教材	第１学年７（読み物・コラム６、写真１） 第２学年５（読み物・コラム４、写真１） 第３学年５（読み物・コラム５）
	議論を行い自分との関わりで考察できる工夫		各学年に考えを深めるための話し合いの手順を示す「話し合いの手引き」を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるように工夫されている。
使用上の配慮等	家庭との架け橋となる工夫		各学年に、学期ごとに学習したことを振り返ることができる「自分の学びを振り返ろう」を配置し、保護者が生徒の考えを目にすることができるようになっている。
	地域の人々との連携や地域の行事との関連を図った学習活動の充実		各学年で「地域と自分との関わり」について考える教材が複数掲載されており、自分たちの地域のためにどんなことができるかを考えることができるよう工夫されている。
	自らの成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりする工夫		各学年に、学期ごとに学習したことを振り返ることができる「自分の学びを振り返ろう」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。
	教材ごとのねらいやテーマの掲載状況		教材ごとに、考える観点が示されている。「日々を見つめて」「寄りそう中で」など、内容項目をイメージするためには少し抽象的。
	教材ごとの展開における発問の掲載状況		教材の中心発問と、自己を振り返る一般化の発問が掲載されている。
その他	その他の特色		グループで意見を書くためのホワイトボード用紙がついている。 デジタルコンテンツ（ＱＲコード）や関連する教科が掲載されている。

様式２

調　査　研　究　結　果

種目	道　　徳	発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教 科 書 名
観点	教科書名等 項　　目	17・教出	道徳 702 道徳 802 道徳 902	中学道徳１ とびだそう未来へ 中学道徳２ とびだそう未来へ 中学道徳３ とびだそう未来へ
取扱内容	地域への興味関心	第１学年	＜郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度、我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度＞を扱い、地域に昔からある伝統や文化を守っていくことは、なぜ大切なのかを考える活動等を取り上げている。	
		第２学年	＜郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度、我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度＞を扱い、伝統の継承や新しい文化の創造のためには、どのようなことが必要かを考える活動等を取り上げている。	
		第３学年	＜郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度、我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度＞を扱い、日本の伝統や文化で受け継いでいきたいもの、世界に発信したいものを考える活動等を取り上げている。	
	命の連続性	第１学年	＜生命の尊さ＞を扱い、人は、何のためにこの世に生まれ、何のために今を生きているのかを考える活動を取り上げている。	
		第２学年	＜生命の尊さ＞を扱い、命のある限り精一杯生きることとは、どのように生きることかを考える活動等を取り上げている。	
		第３学年	＜生命の尊さ＞を扱い、命の重さと向き合っていくためには、どのようなことが大切かを考える活動等を取り上げている。	
	自己肯定感・自己有用感の醸成	第１学年	＜向上心、個性の伸長＞を扱い、個性を伸ばし充実した生き方を追求することの大切さについて考える活動を取り上げている。	
		第２学年	＜向上心、個性の伸長＞を扱い、自分らしさを生かすとはどういうことかを考え、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばすことの大切さについて考える活動等を取り上げている。	
		第３学年	＜向上心、個性の伸長＞を扱い、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培うことの大切さについて考える活動等を取り上げている。	
	生活習慣 （ゲーム･スマホ）	第１学年	＜節度、節制＞を扱い、望ましい生活習慣を身に付けることに対する意欲を高め、自主及び自律の精神について考える活動を取り上げている。	
		第２学年	＜節度、節制＞を扱い、お金の価値について考え、自主及び自律の精神の大切さについて考える活動を取り上げている。	
		第３学年	＜自主、自律、自由と責任＞を扱い、自分の役割に責任をもつことの大切さを考え、自主及び自律の精神を養うことの大切さについて考える活動を取り上げている。	
	情報化への対応	第１学年	＜自主、自律、自由と責任＞、＜遵法精神、公徳心＞を扱い、インターネットを使用する上で、ルールやマナーは、自分たちの生活になぜ必要なのかを考える活動等を取り上げている。	
		第２学年	＜節度、節制＞、＜友情、信頼＞を扱い、ＳＮＳをよりよく利用していくことで、得られることは何かを考える活動等を取り上げている。	
		第３学年	＜節度、節制＞、＜友情、信頼＞を扱い、スマートフォンや携帯電話をよりよく利用していくためには、どのようなことが大切かを考える活動を取り上げている。	
	男女平等	第１学年	＜友情、信頼＞を扱い、「つき合う」とはどういうことかを考えることで、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うことの大	

			切さについて考える活動等を取り上げている。 第２学年　＜友情、信頼＞を扱い、学校生活の中での役割と性別との関係性について考える活動等を取り上げている。 第３学年　＜友情、信頼＞を扱い、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うことの大切さを考える活動を取り上げている。
	いじめ問題への対応		第１学年　＜公正、公平、社会正義＞、＜相互理解、寛容＞を扱い、正義と責任、男女の平等や自他の敬愛と協力を重んずることの大切さについて考える活動等を取り上げている。 第２学年　＜公正、公平、社会正義＞を扱い、正義と責任、自他の敬愛と協力を重んずることの大切さを考える活動を取り上げている。 第３学年　＜相互理解、寛容＞、＜公正、公平、社会正義＞を扱い、差別や偏見のない社会にしていくためにはどうすればよいか考えることで、正義と責任、自他の敬愛と協力を重んずることの大切さを考える活動等を取り上げている。 また、各学年とも、「いじめや差別のない社会について深く考える教材」を複数組み合わせたユニットを設けており、重層的に考え、深めていくことができるようになっている。
内容の構成・排列、分量等	教材数	中心的に扱う教材	第１学年　３０(読み物２７、漫画１、写真１、他１) 第２学年　３０(読み物２９、漫画１) 第３学年　３０(読み物２７、写真２、他１)
		補助的に扱う教材	第１学年　５(読み物５) 第２学年　５(読み物５) 第１学年　５(読み物５)
	議論を行い自分との関わりで考察できる工夫		全学年の巻頭にオリエンテーションページが設けられ、話し合い活動が適切に行えるよう工夫されている。 教材末には、自分の考えを基に話し合い、考えを交流させる問いが設けられており、言語活動が充実するよう工夫されている。 巻末には、学びを振り返るための書き込み欄が設けられており、自分の考えを書いて整理し、考察できるように工夫されている。
使用上の配慮等	家庭との架け橋となる工夫		各学年で「家族と自分との関わり」について考える教材が複数掲載され、家庭の一員として、その役割と責任の自覚を深めることができるよう工夫されている。 巻末の「これからを生きる皆さんへ」のページには保護者記入欄が設けられており、家庭との連携を重視している。
	地域の人々との連携や地域の行事との関連を図った学習活動の充実		各学年で「地域と自分との関わり」について考える教材が複数掲載され、地域社会の一員として、その役割と責任の自覚を深めることができるよう工夫されている。
	自らの成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりする工夫		巻頭には、これからの学びを見通しながら自分の目標を書くページが、巻末には、学期ごとに学びを振り返って記録するページが設けられ、自分の成長を実感し、これからの課題や目標を見つけることができるよう工夫されている。
	教材ごとのねらいやテーマの掲載状況		すべての教材において、「学習の視点」で学習指導要領に示されている４つの視点のどれに該当するかが示され、「導入」において教材で何をテーマに考えていくのかを意識づけ、「学びの道しるべ」で何をどのように考え、学んでいくのかが示されており、明確な課題をもって主体的に学習に取り組むことができるようになっている。
	教材ごとの展開における発問の掲載状況		「学びの道しるべ」において、「問題意識をもつ」「自分自身に引きつけて考え、多面的・多角的に捉える」「道徳的諸価値の理解を深める」ことに関する問いが３つ掲載されており、各問を連携させ、人間としてのあり方について考え、深い学びにつなげられるように掲載されている。
その他	その他の特色		学習を通して特に深く考えたい「いじめや差別のない社会」「生命の尊さ」について、複数の教材やコラムでユニットが組まれている。 補充教材については、郷土資料や自作教材等と差し替えて弾力的に使用することが可能になっており、学校の重点目標に応じて、柔軟に年間指導計画をつくることができるように配慮されている。

様式２

調　査　研　究　結　果

種目	道　　徳	発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教 科 書 名
観点	教科書名等 項　　目	38・光村	道徳・703 道徳・803 道徳・903	中学道徳　1 きみが いちばん ひかるとき 中学道徳　2 きみが いちばん ひかるとき 中学道徳　3 きみが いちばん ひかるとき
取扱内容	地域への興味関心	第１学年〈郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度〉や〈我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度〉を扱い、自分が住む郷土の伝統や文化を作り、継承してきた先人には、どのような思いがあったかを考える活動等を取り上げている。また、北海道知床を扱った教材や、北海道出身の著者が書いた教材が取り上げられている。 第２学年〈郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度〉や〈我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度〉を扱い、郷土の伝統や文化を守り、発展させるためには、自分にはどのようなことができるか考える活動等を取り上げている。また、北海道知床や、アイヌ文化を扱った教材が取り上げられている。 第３学年〈郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度〉や〈我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度〉を扱い、郷土の伝統や文化を継承していくには、どのようなことが大切かを考える活動等を取り上げている。また、北海道旭川市・小樽市・下川町が舞台となっている教材が取り上げられている。		
	命の連続性	第１学年〈生命の尊さ〉を扱い、身近な生き物の命を尊重するためには、どのようなことが大切かを考える活動を取り上げている。 第２学年〈生命の尊さ〉を扱い、生きることが当たり前ではないと感じるのはどのようなときかを考える活動を取り上げている。 第３学年〈生命の尊さ〉を扱い、生きている間に命を大切にするためには、どのような生き方をすべきかを考える活動を取り上げている。		
	自己肯定感・自己有用感の醸成	第１学年〈自主・自律、自由と責任〉を扱い、自分で何かを決めるときに大切なことについて考える活動を取り上げている。 第２学年〈家族愛、家庭生活の充実〉を扱い、家族の１人として自分ができることについて考える活動を取り上げている。 第３学年〈向上心・個性の伸長〉を扱い、人の生き方について語った先人の言葉を通して、自分を見つめ、自分を輝かせるためのヒントを得られる活動を取り上げている。		
	生活習慣 （ゲーム･スマホ）	第１学年〈節度・節制〉を扱い、健康に毎日を送るために大切なことについて考える活動を取り上げている。 第２学年〈節度・節制〉を扱い、「依存」に陥らない生活を送るために必要なことについて考える活動を取り上げている。 第３学年〈節度・節制〉を扱い、よい生活習慣を実践するのに大切な心構えについて考える活動を取り上げている。		
	情報化への対応	第１学年〈相互理解・寛容〉を扱い、スマートフォンを使って立場の異なる人と関わり合うためには、どのようなことが大切かを考える活動を取り上げている。 第２学年〈節度・節制〉を扱い、携帯電話やスマートフォンを扱い、上手に利用していくためには、どのような心構えが必要かを考える活動を取り上げている。 第３学年〈遵法精神、公徳心〉を扱い、インターネットを使って、情報を発信するときには、どのようなことに配慮する必要があるかを考える活動を取り上げている。		

	男女平等		第１学年〈友情、信頼〉を扱い、社会で他者と共に生きていくために大切なことについて考える活動を取り上げている。 第２学年〈友情、信頼〉を扱い、同性同士の友情と異性との友情に違いはあるのかということを考える活動を取り上げている。 第３学年〈友情、信頼〉を扱い、友達とはどんなものかを考える活動を取り上げている。
	いじめ問題への対応		第１学年〈公正、公平、社会正義〉を扱い、いじめが起こらない社会を作るために大切なことについて考える活動を取り上げている。 第２学年〈公正、公平、社会正義〉を扱い、誰もが安心して過ごせる社会のために大切なことについて考える活動を取り上げている。 第３学年〈自主、自律、自由と責任〉を扱い、自分で考え誠実に行動するとは、どういうことを考える活動を取り上げている。
内容の構成・排列	教材数	中心的に扱う教材	第１学年　３１(読み物・コラム２９、漫画２) 第２学年　３１(読み物・コラム３０、漫画１) 第３学年　３１(読み物・コラム３１)
		補助的に扱う教材	第１学年　４(読み物・コラム４) 第２学年　４(読み物・コラム４) 第３学年　４(読み物・コラム３、漫画１)
	議論を行い自分との関わりで考察できる工夫		各学年に、多面的・多角的な見方や考え方による話し合いの視点を示す「見方を変えて」を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるようになっている。
使用上の配慮等	家庭との架け橋となる工夫		「つなげよう」の部分で、授業で学んだことを他教科や日常生活との関わりで考えられるようになっている。また、教材ごとに記入する「学びの記録」や１年間の学びを振り返る「道徳の学びを振り返ろう」を配置し、保護者からも生徒の道徳性に関わる成長を実感したり、保護者の意見を記入したりする欄が設定されている。
	地域の人々との連携や地域の行事との関連を図った学習活動の充実		全ての学年で郷土の伝統と文化に関する教材があり、郷土を大切にし、有形無形の美しさや国や郷土への誇り、愛情を感じることが出来るように工夫がなされている。
	自らの成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりする工夫		教材ごとに記入する「学びの記録」や１年間の学びを振り返る「道徳の学びを振り返ろう」を配置し、自らの道徳性に関わる成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。
	教材ごとのねらいやテーマの掲載状況		教材ごとに内容項目に関わる文言が冒頭に示されている。また、テーマ別に分類された目次も掲載されている。各学年に、教材ごとに多面的・多角的に考えを広げたり、深めたりするための学習のめあてを示す「てびき」を配置し、生徒が主体的に取り組むことができるようになっている。
	教材ごとの展開における発問の掲載状況		各教材に価値理解、自己理解、人間理解に関わる発問が１～３問ずつ発問が示されている。
その他	その他の特色		全ての生徒が学習しやすいように、カラーユニバーサルデザインに配慮するとともに、１人１台端末を活用した学習としてＱＲコードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。

様式２

調　査　研　究　結　果

種目	道　　徳	発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教 科 書 名
観点	教科書名等 項　　目	１１６・日文	道徳・７０４、７０５ 道徳・８０４、８０５ 道徳・９０４、９０５	中学道徳 あすを生きる1、中学道徳あすを生きる1道徳ノート 中学道徳 あすを生きる2、中学道徳あすを生きる2道徳ノート 中学道徳 あすを生きる3、中学道徳あすを生きる3道徳ノート
取扱内容	地域への興味関心	第１学年〈郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度〉〈我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度〉を扱い、自分が住んでいる地域の伝統や文化にはどのような意味があるかを考える活動等を取り上げている。また、洞爺湖温泉が舞台となる読み物教材が扱われている。 第２学年〈郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度〉〈我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度〉を扱い、郷土の伝統や文化を絶やさないために必要なことは、どのようなことかを考える活動等を取り上げている。また、第２学年でえりも町と小樽市が舞台となる読み物教材が扱われている。 第３学年〈郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度〉〈我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度〉を扱い、伝統や文化を受け継ぐためには、どのようなことを大切にすればよいかを考える活動等を取り上げている。			
	命の連続性	第１学年〈生命の尊さ〉を扱い、人とつながって生きている自分とは、どのような存在であるかを考える活動を取り上げている。 第２学年〈生命の尊さ〉を扱い、自分の周りにある支え合う生命には、どのようなものがあるかを考える活動を取り上げている。 第３学年〈生命の尊さ〉を扱い、命のつながりや命をつないでいくこととは、どのようなことかを考える活動を取り上げている。		
	自己肯定感・自己有用感の醸成	第１学年〈向上心、個性の伸長〉〈よりよく生きる喜び〉を扱い、自分の個性を生かして生きるために大切なこと、自分の弱さを乗りこえて生きていくために大切なことを考える活動等を取り上げている。 第２学年〈向上心、個性の伸長〉〈よりよく生きる喜び〉を扱い、自分自身のよさを知ることで、これからの自分がどう変わっていきそうか、自分の弱さを克服するためにどんなことが大切かを考える活動等を取り上げている。 第３学年〈向上心、個性の伸長〉〈よりよく生きる喜び〉を扱い、人の役に立つことや生きがいについて考えたりする活動等を取り上げている。		
	生活習慣 （ゲーム･スマホ）	第１学年〈節度、節制〉を扱い、自分の身近にある「安全」について考える活動を取り上げている。 第２学年〈節度、節制〉を扱い、調和のある充実した生活を送るために、大切なことを考える活動を取り上げている。 第３学年〈節度、節制〉を扱い、どうして「独りを慎む」心をもっていることが大切なのかを考える活動を取り上げている。		
	情報化への対応	第１学年〈友情、信頼〉〈遵法精神、公徳心〉を扱い、義務で守るルールの他に、自ら「尊重したいから守る」ルールにはどのようなものがあるかを考える活動等を取り上げている。 第２学年〈友情、信頼〉〈自主、自律、自由と責任〉を扱い、相手にとって自分が本当の友達になるために、どのようなことが大切か、インターネット上の責任について考える活動等を取り上げている。		

			第３学年〈友情、信頼〉〈遵法精神、公徳心〉を扱い、インターネットを使う際の、相手の気持ちを考えた行動とはどのようなものかを考える活動等を取り上げている。
	男女平等		第１学年〈友情、信頼〉を扱い、異性に対して、人として互いに理解し合いたいと思うことは、どんなことかを考える活動を取り上げている。 第２学年〈友情、信頼〉を扱い、友達とよりよい関係を築いていくために、どんなことが大切かを考える活動を取り上げている。 第３学年〈友情、信頼〉を扱い、人を好きになるということは、どういうことかを考える活動を取り上げている。また、「さまざまな性」を扱い、誰もが自分らしく生きることの大切さを取り上げている。
	いじめ問題への対応		第１学年〈自主、自律、自由と責任〉〈向上心、個性の伸長〉〈友情、信頼〉〈相互理解、寛容〉〈公正、公平、社会正義〉〈よりよい学校生活、集団生活の充実〉を扱い、お互いに認め合って生きていくために、大切なことを考える活動等を取り上げている。 第２学年〈自主、自律、自由と責任〉〈友情、信頼〉〈公正、公平、社会正義〉〈よりよい学校生活、集団生活の充実〉を扱い、差別や偏見を生む原因はどんなところにあるのかを考える活動等を取り上げている。 第３学年〈友情、信頼〉〈相互理解、寛容〉〈公正、公平、社会正義〉を扱い、いじめという問題を乗り越えるためには、どんな考え方が大切かについて考える活動等を取り上げている。
内容の構成・排列	教材数	中心的に扱う教材	第１学年３５（読み物３３、漫画２、） 第２学年３５（読み物３４、漫画１、） 第３学年３５（読み物３２、他３）
		補助的に扱う教材	第１学年７（写真１、漫画１、他５） 第２学年７（他７） 第３学年６（他６）
	議論を行い自分との関わりで考察できる工夫		全ての学年で話し合いの手順を示す「道徳科での学び方」「学習の進め方」が設けられており、学びをより深めるための手立てが示されている。
使用上の配慮等	家庭との架け橋となる工夫		別冊道徳ノートに、印象に残った学習と、その理由を記入する「道徳科で学んだことを振り返ってみよう」を配置し、保護者記入欄を設けている。
	地域の人々との連携や地域の行事との関連を図った学習活動の充実		各学年で「地域と自分との関わり」について考える教材が複数掲載されており、自分たちの地域のためにどんなことができるかを考えることができるよう工夫されている。
	自らの成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりする工夫		別冊道徳ノートに毎回、自分への振り返りを記入する欄が設けられている。また、学期ごとに「道徳科で学んだことを振り返ってみよう」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。
	教材ごとのねらいやテーマの掲載状況		教材ごとにタイトルとは別に、考える観点が示されている。「困難を乗り越える力」「いじめのない集団」など、何を考えるのかが分かりやすい標記になっており、導入発問としても活用できるよう工夫されている。。
	教材ごとの展開における発問の掲載状況		教材の中心発問（みんなで考えたり、議論する内容）と、これからの自分にどう生かすかを考える発問（自分に＋１）が掲載されている。
その他	その他の特色		別冊の道徳ノートが付属されており、授業用にワークシートを作成する必要はない。学習の参考資料へとアクセスできるＱＲコードがついている。生徒にとってより身近な題材、深く考えさせる題材、いじめについて考える題材が多く扱われている。

様式２

調　査　研　究　結　果

種目	道　　徳	発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教 科 書 名
観点	教科書名等 項　　目	38・学研	道徳・706 道徳・806 道徳・906	新・中学生の道徳　明日への扉１ 新・中学生の道徳　明日への扉２ 新・中学生の道徳　明日への扉３
取扱内容	地域への興味関心	第１学年〈郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度〉や〈我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度〉を扱い、日本人が日本の伝統や文化を継承するには、どのような意義があるかを考える活動等を取り上げている。また、北海道出身の式町水晶や本橋麻里を取り上げている。 第２学年〈郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度〉や〈我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度〉を扱い、自分が住んでいる地域を誇りに思うときには、どのようなこと時かを考える活動等を取り上げている。また、北海道小樽市や星置の滝、北海道出身の高梨沙羅を取り上げている。 第３学年〈郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度〉や〈我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度〉を扱い、地域にある伝統や文化の要素に、自分はどのように関わっていくことができるかを考える活動等を取り上げている。また、蝦夷地を取り上げたり、北海道出身の植松努を取り上げたりしている。		
	命の連続性	第１学年〈生命の尊さ〉を扱い、命の偶然性や連続性、有限性について、自分はどのようことを感じるかを考える活動を取り上げている。 第２学年〈生命の尊さ〉を扱い、生命の誕生に関わる話を聞いたり写真を見たりしたとき、自分はどのようなことを感じるか考える活動を取り上げている。 第３学年〈生命の尊さ〉を扱い、自分にとって、命を大切にするということは、どのようなことかを考える活動を取り上げている。		
	自己肯定感・自己有用感の醸成	第１学年〈よりよく生きる喜び〉を扱い、希望をもって生きるとはどういうことかを考える活動を取り上げている。 第２学年〈向上心、個性の伸長〉を扱い、夢を叶えるために大切なことを考える活動が取り上げられている。 第３学年〈相互理解、寛容〉を扱い、異なる意見を尊重しつつ、自分も成長していくためにはどうすればよいかを考える活動が取り上げられている。		
	生活習慣 （ゲーム･スマホ）	第１学年〈節度、節制〉を扱い、心の弱さに負けないために、必要なことについて考える活動を取り上げている。 第２学年〈節度、節制〉を扱い、安全安心に生活するために心掛ける必要があることについて考える活動を取り上げている。 第３学年〈節度、節制〉を扱い、心身共に健康で生き生きとした生活をするためにはどうしたらよいかを考える活動を取り上げている。		
	情報化への対応	第１学年〈公正、公平、社会正義〉を扱い、スマートフォンを扱い、立場の異なる人と関わり合うためには、どのようなことが大切かを考える活動を取り上げている。 第２学年〈社会参画、公共の精神〉を扱い、ＳＮＳを使って異なる意見を尊重するためには、どのようなことかを考える活動を取り上げている。 第３学年〈遵法精神、公徳心〉を扱い、インターネットを使って周りの人の権利を損なわないようにするために、どのようなことに		

			気を付けなければならないかを考える活動を取り上げている。
	男女平等		第１学年〈友情、信頼〉を扱い、お互いの存在の意義や男女間の友情について考える活動を取り上げている。 第２学年〈友情、信頼〉を扱い、異性と信頼し合い、励まし合えるような友達関係を築くために大切なことについて考える活動を取り上げている。 第３学年〈友情、信頼〉を扱い、男女間で異性として相手を慕う以外にどのような気持ちがあるかを考える活動を取り上げている。
	いじめ問題への対応		第１学年〈公正、公平、社会正義〉を扱い、差別や偏見のない社会を実現するために身近にできることを考える活動を取り上げている。 第２学年〈公正、公平、社会正義〉を扱い、相手を尊重するために大切なことについて考える活動を取り上げている。 第３学年〈相互理解、寛容〉について扱い、異なる意見を尊重しつつ、自分も成長していくためにはどうすればよいか考える活動を取り上げている。
内容の構成・排列	教材数	中心的に扱う教材	第１学年　３１(読み物・コラム 35) 第２学年　３１(読み物・コラム 33、漫画２) 第３学年　３１(読み物・コラム 33、漫画２)
		補助的に扱う教材	第１学年　２(その他２) 第２学年　２(その他２) 第３学年　２(その他２)
	議論を行い自分との関わりで考察できる工夫		各学年に、考えを深めるための話し合いの視点を「話し合おう」を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるようになっている。
使用上の配慮等	家庭との架け橋となる工夫		自分を見つめる「マイプロフィール」や心の成長を振り返る「心の四季」や「学びの記録」を配置し、生徒が主体的に学習に取り組むことができるように工夫されていることに加え、生徒の変容が保護者にも伝わるようになっている。
	地域の人々との連携や地域の行事との関連を図った学習活動の充実		全ての学年で郷土の伝統と文化に関する教材があり、郷土を大切にし、有形無形の美しさや国や郷土への誇り、愛情を感じることが出来るように工夫がなされている。
	自らの成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりする工夫		自分を見つめる「マイプロフィール」や心の成長を振り返る「心の四季」を配置し、生徒が主体的に学習に取り組むことができるように工夫されている。
	教材ごとのねらいやテーマの掲載状況		教材ごとに、４つの区分に関するイラストが冒頭に表示されている。また、テーマ別に分類された目次も掲載されている。
	教材ごとの展開における発問の掲載状況		教材ごとに、価値理解や自己理解、人間理解に関わる発問が２つ掲載されている。
その他	その他の特色		全ての生徒が学習しやすいように、カラーユニバーサルデザインに配慮するとともに、１人１台端末を活用した学習としてＱＲコードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。

様式２

調　査　研　究　結　果

種目	道　　徳	発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教 科 書 名
観点	教科書名等 項　　目	232・廣あかつき	道徳 707 道徳 708 道徳 807 道徳 808 道徳 907 道徳 908	中学生の道徳 自分を見つめる1 中学生の道徳ノート　自分を見つめる1 中学生の道徳 自分を見つめる2 中学生の道徳ノート　自分を見つめる2 中学生の道徳 自分を見つめる3 中学生の道徳ノート　自分を見つめる3
取扱内容	地域への興味関心	第１学年　＜郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度、我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度＞を扱い、郷土の特色の維持や発展のために、自分はどのようなことをしているかを考える活動等を取り上げている。 第２学年　＜郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度、我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度＞を扱い、長く受け継がれてきた郷土の伝統や文化には、そこに住む人々のどのような思いが込められているのかを考える活動等を取り上げている。 第３学年　＜郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度、我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度＞を扱い、郷土の発展のために、自分にできることは、どのようなことがあるかを考える活動等を取り上げている。		
	命の連続性	第１学年　＜生命の尊さ＞を扱い、この世に生まれてきたことや、今、生きていることについて、どのように感じているかを考える活動を取り上げている。 第２学年　＜生命の尊さ＞を扱い、命を大切にすることについて、立場や状況によって考えが異なる中で、生命の尊厳を守るためには、どのようなことが大切かを考える活動を取り上げている。 第３学年　＜生命の尊さ＞を扱い、人の生死に対して多様な考えがある中で、生命の尊厳を守るためには、どのようなことが大切かを考える活動を取り上げている。		
	自己肯定感・自己有用感の醸成	第１学年　＜向上心、個性の伸長＞を扱い、自己の向上を図り、個性を伸ばして充実した生き方を追求することの大切さについて考える活動を取り上げている。 第２学年　＜向上心、個性の伸長＞を扱い、自分らしさを発揮することのよさに気付き、個性を伸ばして充実した生き方を追求していこうとする意欲を高める活動を取り上げている 第３学年　＜向上心、個性の伸長＞を扱い、自己を見つめ、向上を図っていくことの大切さについて考える活動を取り上げている。		
	生活習慣 （ゲーム･スマホ）	第１学年　＜自主、自律、自由と責任＞を扱い、自立心や自律性の大切さに気付き、自主的に考え、判断し、誠実に実行しくことの大切さについて考える活動を取り上げている。 第２学年　＜自主、自律、自由と責任＞を扱い、誠実であることの大切さに気付き、規範意識を高め、自律的に生きていこうとする態度の大切さについて考える活動を取り上げている。 第３学年　＜自主、自律、自由と責任＞を扱い、自律的な判断と責任の大切さに気付き、結果に責任をもつ態度が大切であることを考える活動を取り上げている。		
	情報化への対応	第１学年　＜相互理解、寛容＞を扱い、寛容の心をもって他者と接することの大切さについて考える活動を取り上げている。 第２学年　＜礼儀＞を扱い、他者を思いやる心を伝えていこうとすることの大切さについて考える活動を取り上げている。 第３学年　＜自主、自律、自由と責任＞を扱い、自ら考え、判断し、実行し、結果に責任をもつことの大切さについて考える活動を取り上げている。		

	男女平等		第１学年　＜友情、信頼＞を扱い、相手を理解し、信頼し合える人間関係を築いていくことの大切さについて考える活動を取り上げている。 第２学年　＜友情、信頼＞を扱い、信頼と敬愛の念をもって人間関係を築くことの大切さについて考える活動等を取り上げている。 第３学年　＜友情、信頼＞を扱い、信頼と敬愛の念に基づき、互いを向上させていける人間関係を築いていくことの大切さについて考える活動等を取り上げている。
	いじめ問題への対応		第１学年　＜思いやり、感謝＞、＜公正、公平、社会正義＞を扱い、いじめのない社会の実現に努めることの大切さについて考える活動等を取り上げている。 第２学年　＜公正、公平、社会正義＞を扱い、自分の弱さに打ち勝って、差別や偏見、いじめのない社会の実現に努めることの大切さについて考える活動等を取り上げている。 第３学年　＜公正、公平、社会正義＞を扱い、差別や偏見、いじめや不正な言動を断固として許さないことの大切さについて考える活動等を取り上げている。
内容の構成・排列、分量等	教材数	中心的に扱う教材	第１学年　３５(読み物３５) 第２学年　３５(読み物３５) 第３学年　３５(読み物３５)
		補助的に扱う教材	第１学年　２５(読み物２５) 第２学年　２５(読み物２５) 第１学年　２５(読み物２５)
	議論を行い自分との関わりで考察できる工夫		著名人や先哲の言葉を手がかりに、主体的・対話的で深い学びを促すことができるよう、本冊教材のすべてにおいて、扱う題材や学習する道徳的価値に関わる格言・名言が掲載されている
使用上の配慮等	家庭との架け橋となる工夫		本冊の教材ごとに設けた「考える・話し合う」や「考えを広げる・深める」を手がかりに、家族や友達と語り合うことができるように工夫されている。また、本書を媒介とした「子どもの心の成長」に関する家庭との連携について記載されている。
	地域の人々との連携や地域の行事との関連を図った学習活動の充実		公共の精神に基づいて、社会に積極的に関わっていこうとする姿勢を育む教材（第１学年：加山さんの願い、他）が掲載されている。 また、本冊すべての学年の巻末に「持続可能な社会」という視点で生徒の主体的な社会参画意識を高めるページが特設されている。
	自らの成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりする工夫		各授業の終末において、別冊を活用して「自分が自分に自分を問う」ことにより、生徒が自分自身の学習を振り返って成長を実感したり、課題や目標を見つけたりすることができるように工夫されている。 別冊の「道徳ノート」に生徒の内面の記録をとることができ、長期的な視野で自らの成長を振り返ることができるように工夫されている。
	教材ごとのねらいやテーマの掲載状況		各教材の「考える・話し合う」の部分に、ねらいが示されている。別冊「道徳ノート」には、各教材のテーマと補助資料が掲載されており、これを足掛かりに、話し合い活動等にスムーズに進むことができるように工夫されている。
	教材ごとの展開における発問の掲載状況		各教材には、「考える・話し合う」が掲載され、そこで発問が明確に指示されており、生徒自らが主体的に考えることができるように工夫されている。
その他	その他の特色		全体の構成にあたって年間３時間配当の「重点項目」が設定され、指導内容の重点化に即した教材が用意されている。 別冊「道徳ノート」が用意され、１単位時間の中での生徒の心の変容や、年間を通しての心の成長を記録できるようになっている。

様式２

調　査　研　究　結　果

種目	道　　徳	発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教 科 書 名
観点	教科書名等／項　　目	２３３・日科	道徳・７０９ 道徳・８０９ 道徳・９０９	道徳 中学校１ 生き方から学ぶ 道徳 中学校２ 生き方から学ぶ 道徳 中学校３ 生き方から学ぶ
取扱内容	地域への興味関心	第１学年〈郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度〉〈我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度〉を扱い、家族や地域の人々は、郷土に対してどのような思いをもっているかを考える活動等を取り上げている。 第２学年〈郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度〉〈我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度〉を扱い、地域の伝統行事は、郷土の人々にとって、どのような意味があるかを考える活動等を取り上げている。また、サハリンと札幌市、小樽市が舞台となる読み物教材が扱われている。 第３学年〈郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度〉〈我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度〉を扱い、身のまわりにある長く受け継がれてきた日本人の技や知恵には、どのようなものがあるかを考える活動等を取り上げている。		
	命の連続性	第１学年〈生命の尊さ〉を扱い、先祖から子孫へ受け渡していく生命の連続性について、自分はどのようなことを感じるかを考える活動を取り上げている。 第２学年〈生命の尊さ〉を扱い、人が生命を尊重したり、人の命を守ったりするために行動するのはなぜかを考える活動を取り上げている。 第３学年〈生命の尊さ〉を扱い、生命に対して多様な考えがある中で、生命の尊厳を守るためには、どのようなことが大切かを考える活動を取り上げている。		
	自己肯定感・自己有用感の醸成	第１学年〈向上心、個性の伸長〉〈よりよく生きる喜び〉を扱い、自分の良さや、変えたいところを見つめたり、個性を大事にして伸ばしていくこと、人間として誇りある生き方についてを考える活動等を取り上げている。 第２学年〈向上心、個性の伸長〉〈よりよく生きる喜び〉を扱い、自分らしい生き方をするためには、どういうことが大切かを考える活動等を取り上げている。 第３学年〈向上心、個性の伸長〉〈よりよく生きる喜び〉を扱い、他の人がやりたくても挑戦できないことをやろうとする姿勢や、あやまちや失敗に気づいたとき、どう行動することが必要かを考えたりする活動等を取り上げている。		
	生活習慣 （ゲーム･スマホ）	第１学年〈節度、節制〉を扱い、自分自身の生活習慣で改善したいことについて考える活動を取り上げている。 第２学年〈節度、節制〉〈向上心、個性の伸長〉を扱い、自分自身の日常生活を振り返り、どうあるべきかを考える活動等を取り上げている。 第３学年〈節度、節制〉を扱い、「もったいない」精神の奥にある思い等を考える活動を取り上げている。		
	情報化への対応	第１学年〈公正、公平、社会正義〉を扱い、無料通話アプリ上でのやりとりを通して友達との関係をよくするためには、どのような配慮が必要かを考える活動を取り上げている。 第２学年〈相互理解、寛容〉を扱い、インターネットを通して、コミュニ		

			ケーションを図る上で、どのような配慮が必要かを考える活動を取り上げている。 第３学年〈友情、信頼〉を扱い、スマートフォンやインターネットを介してコミュニケーションを取るときに大切なことはどのようなことかを考える活動を取り上げている。
	男女平等		第１学年〈友情、信頼〉を扱い、異性についての理解を深めることの大切さを考える活動を取り上げている。 第２学年〈友情、信頼〉で、性同一性障がいを扱い、多様な性について考える活動を取り入れている。 第３学年〈友情、信頼〉を扱い、悩みや葛藤を経験しながら人間関係を深めることの大切さを取り上げている。
	いじめ問題への対応		第１学年〈友情、信頼〉〈公正、公平、社会正義〉を扱い、友達とよい関係を築くために大切なことを考える活動を取り上げている。 第２学年〈相互理解、寛容〉を扱い、コミュニケーションをとる上での配慮としてどのようなことがあるかを考える活動を取り上げている。 第３学年〈友情、信頼〉を扱い、いじめのない社会の実現に努めることの大切さを考える活動を取り上げている。
内容の構成・排列	教材数	中心的に扱う教材	第１学年３７（読み物３５、漫画１、他１） 第２学年３７（読み物３４、写真１、漫画１、他１） 第３学年３７（読み物３４、他３）
		補助的に扱う教材	第１学年１１（読み物・コラム７、他４） 第２学年１３（読み物・コラム８、他５） 第３学年７（読み物・コラム４、写真１、他２）
	議論を行い自分との関わりで考察できる工夫		各学年に考えを深めるための話し合いの視点を示す「考え、話し合ってみよう　そして、深めよう」を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力を育むことができるよう工夫されている。
使用上の配慮等	家庭との架け橋となる工夫		各学年に、学年末に記入する「〇年生の心の成長を振り返りましょう」を配置し、保護者が生徒の考えを目にすることができるようになっている。
	地域の人々との連携や地域の行事との関連を図った学習活動の充実		各学年で「地域と自分との関わり」について考える教材が複数掲載されており、地域の伝統や文化を守ること、自分たちの地域のためにどんなことができるかを考えることができるよう工夫されている。
	自らの成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりする工夫		各学年に、学年末に記入する「〇年生の心の成長を振り返りましょう」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。
	教材ごとのねらいやテーマの掲載状況		教材ごとに、タイトルは示されている。学習するテーマ（内容項目）は明記されていないが、教材は内容項目ごとに分類されて配列されている。
	教材ごとの展開における発問の掲載状況		各教材に１～３問ずつ、発問が示されている。
その他	その他の特色		学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。